

金沢市立金石中学校

【はじめに】

本校は金沢の西部、犀川河口に位置し、遠く南には白山、西には日本海、東に立山が一望できる位置にある。昭和22年に開校して、1万9千名を越える卒業生を送り出してきた歴史と伝統のある学校で、68年目となる今年度は、全校生徒441名、教職員は35名が在籍している。

海岸に近いという地域性から、海岸清掃や松の植林など子ども達自らの手で地域の環境を整え守ることが大切であり、また金石地区は港町で歴史があることから、地域の文化と深くかかわり、伝統文化を継承する取り組みが積極的に行われている。今後その伝統を守り受け継ぐとともに、良さを発信することが大切である。

昨年度ユネスコスクールの認定を受け、環境や伝統、国際理解を主要テーマとして持続発展教育(ESD)の実践に取り組んでいる。



We are KANA IWA
「地域や自然を守る」 「伝統文化を受け継ぎ発信する」

1 ユネスコスクールとしての取組

(1) 環境教育

【花いっぱい運動】6月

昨年度に続いて花いっぱい運動に取り組んだ。科学部の生徒達を中心となって、校門前や玄関前に季節の花をたくさん植え育てた。この運動は、生徒たちの情操教育の一助となった。

【海岸清掃】7月

今年度も7月19日に本校の「金沢児童生徒ボランティアの日」と位置づけ、金石海岸清掃活動を行った。地域の海岸清掃に約200名の生徒が参加し海の自然を守ることの大切さを学んだ。



【生徒会・ボランティア委員会】年間

10月のPTA主催資源回収に加え、毎月牛乳パックやアルミ缶、ペットボトルキャップの収集を行っている。牛乳パックやアルミ缶は障害者施設などに寄付しており、ペットボトルキャップについては、ボランティア委員



長とともに、FM放送局に寄付することができた。今年はペットボトルキャップが約16000個集まり、発展途上国の子ども達のための予防接種にあてることができた。今年度は保護者にメール送信で呼びかけたり、生徒議会を通して他の生徒からの要望で、初めて書き損じハガキやプルタブも回収することとなったり、さらに活動を広げた。環境にとって大切なこの活動の意義を感じ、生徒達は声かけあって積極的に取り組んでいた。



【早朝清掃】8月・10月

今年度は、約60名の部活動の生徒中心による早朝清掃が行われた。朝6時から1時間ほどの清掃活動であるが、地域の方々とともに自分達の住む町をきれいにする活動に参加して、地域の美化の大切さを感じていた。



(2) 伝統文化を受け継ぐ取組

今年度も中学校2年生を中心に多くの生徒が参加した。悪魔祓いなどの伝統文化を受け継ぎ、夏に行われる大野湊神社と日吉神社の夏祭り、地域の方々とともに活躍した。毎年この祭りを通して、伝統を大切にしている心が育まれている。

(3) 国際理解教育

【総合的な学習の時間の授業】

1月21日・26日の2日間にわたり、金沢市国際交流員4名（韓国、中国、フランス、ベルギー出身）の方々が来校し、3年の総合的な学習の時間の授業の中で、それぞれの国の食・文化・教育などについて講演していただいた。その中で、自国の良さや、日本との比較もあり、とてもわかりやすい内容だった。生徒たちが、積極的に質問していたことが印象的だった。各国の文化や風土に触れることができたこの取り組みを、来年度から3年の総合的な学習の時間に位置づけていく予定である。



(中国)



(ベルギー)



(フランス)



(韓国)

(4) 震災から学ぶ取組

【福島ひまわり里親プロジェクト】6月～

生徒会が中心となり、福島の復興のシンボルであるひまわりを世界・日本中に広げる活動に参加した。福島から届いたひまわりの種を玄関



前庭に植え育てた。そのひまわりから採れた種を福島に送る活動である。この活動を全校生徒に広め、福島へ種を送る際には、ボランティア委員長が代表で事務局へ、学んだことや自分たちができることを考え実行していきたいこと、またこれから福島の積極的に交流していきたいことを、メッセージに書き表し、種とともに送付した。また、このプロジェクトを通して学んだことを、全校生徒にも呼びかけた。



2 成果と課題

①ユネスコスクールのテーマを踏まえた児童生徒の変容や行動等について

それぞれの活動を通して、地域の自然や人々への関心や気づきが深まった。また、地域や金沢についての学習が、他の国の人々との交流の中で生かされ、自分たちの住んでいる地域の良さを再確認することができた。

②持続発展教育カリキュラムの作成上の工夫等について

今までの学習や活動の中で、持続発展教育カリキュラムに値するものが多かった。来年度はさらにしっかりと系統立てていきたい。

③他校への情報の発信、ネットワークづくりについて

掲示物や生徒議会、放送などを通して、全校生徒に発信することができた。また、中学生会議の中で、他校の生徒と交流し意見交換する中で、生徒会の課題も見えてきた。これからも他校とのつながりを深めていきたい。